

## 今月の表紙「シェフレラ」

ツツツとした比較的厚みのある葉は、8、9枚の小葉が集まった掌状複葉の形をしています。原産地は台湾、中国南部で、半耐寒性、常緑低木で日陰にも強く、とても丈夫で育てやすい観葉植物です。根を張るのがとても速く、挿し木をすると、どんどん大きくなります。

## Contents

- 01 巻頭言  
有富 慶二  
「規制改革の仕組みを体系的に整備すべし」
- 02 特集  
「第16回 企業白書  
～『新・日本流経営の創造』～」  
発表記念シンポジウム
- 10 リレートーク  
波多野敬雄「提言」
- 11 委員長インタビュー  
構造改革進捗レビュー委員会 梶川 融
- 12 経済同友会最前線  
構造改革進捗レビュー委員会 意見書  
「郵政改革に関する意見」  
政治・行政改革委員会 意見書  
「政党による政策本位の政治」の実現に向けて  
第3回 NPO・社会起業シンポジウム&  
見本市（メッセ）を開催  
学校と企業・経営者の交流活動推進委員会  
桜井 正光 代表幹事講演  
全国45経済同友会共催  
第23回全国経済同友会セミナーのお知らせ
- 19 同友会スケッチ  
2010年1月の記録と3月の予定
- 21 新入会員紹介  
2010年1月15日現在の入退会者
- 22 私の思い出写真館  
生田 正治  
「郵政事業問題再燃の中に思う」



副代表幹事  
会員委員会 委員長  
**有富 慶二**  
ヤマトホールディングス  
取締役会長

## 規制改革の仕組みを体系的に整備すべし

わが国の規制改革活動は、1981年の土光臨調を嚆矢としながら、着々と成果を紡いできた。国鉄や専売公社などの官業民営化や経済的規制と社会的規制のバランスを取るなどの改革によって、国民が製品やサービスなどの品質の向上と価格の低下を同時に享受することができるようになった。

伝統を受け継いだ現在の規制改革会議は、昨年12月でほぼ3年にわたる活動を停止した。委員として活動の一翼を担った立場から、さらに規制改革の実を上げるべき提案をしたい。これからの規制改革は、国際競争力を高めることで経済を活性化させ、国民に富を配分するために推進するスタンスを持つことが重要だ。

経済同友会の規制改革委員会において駐日英国大使から、規制改革先進国である英国の実態を伺った。大使の講演では、「英国には、企業があるからこそ経済が成り立つとの理解が存在するので、国民生活の安全確保と企業の国際競争力向上の両方のバランスが取れた規制を実現させようとするコンセンサスが存在する」「日本では、官僚が国民の批判から自らを守るためと、官庁縦割りによる継ぎはぎだらけの規制が多いので、安全サイドに過剰に傾いた規制になっている」と述べられていた。

新政権には、産業のグローバルな競争力を向上させて、経済を活性化させながら国民生活の安全を確保できるように、規制を常時、スピーディーに改革できる体制の実現を強く求めたい。そのためには、「ハトミミ.com」によって単に国民の声を聞くだけや対症療法にとどまらない、抜本的な改革が望まれる。

例えば、規制を作る段階では当局自らにコストと便益の説明をさせ、また運用段階を常時監視し問題点を速やかに見出して改正につなげる権限を持った組織を法的に構築するなどして、規制改革の仕組みを体系的に整備してほしいと思っている。